

令和3年度 生涯学習部研修会（岐阜地域）報告

日時：令和4年2月6日 日曜日 10時～13時00分

場所：WEB研修会（Zoomを使用）

テーマ①：「前立腺全摘除術と術後尿失禁」

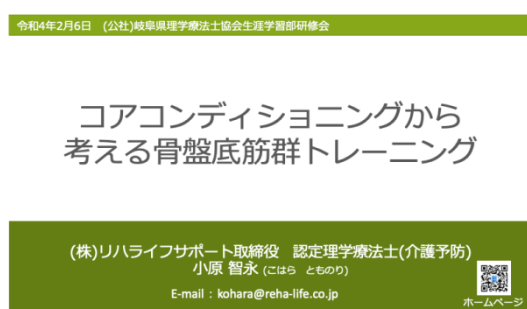
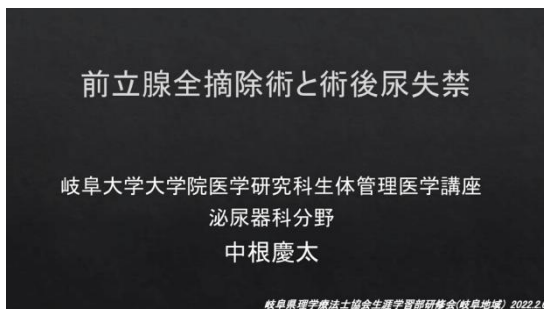
講師：中根 慶太先生（岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科 准教授）

テーマ②：「コアコンディショニングから考える骨盤底筋群トレーニング」

講師：小原 智永先生（株式会社リハライフサポート取締役 介護予防認定理学療法士）

講師：相馬 綾子先生（Body Coordination ポポラ）

参加人数：受講者29名（スタッフ含む）



今回の研修会は骨盤底筋に焦点を絞り、Zoom を使用しての WEB 研修会となりました。まず、1 つ目のテーマである「前立腺全摘除術と術後尿失禁」について、分野的に大変難しい話ではありましたが、前立腺癌の手術療法の話では、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（以下；RARP）の術中動画を使用し解説していただき、とても興味深く講義を聴くことができました。RARPの長所である手ブレが少ないことや、視野のとりやすさなど良く分かりました。術後尿失禁のリスクファクターの話も興味深く、骨盤底筋の収縮を促す声の掛け方など、工夫する必要があることも知りました。文献を通し、骨盤底筋の運動は術後からでも十分効果が高く、リハビリ介入の意義が高い事を説明していただき、これからどんどん発展していく分野であることを感じました。

2 つ目のテーマである「コアコンディショニングから考える骨盤底筋群トレーニング」について、講師の小原先生と相馬先生により、実技を中心にとっても分かりやすく御講義いただきました。実技を通して、しっかりと筋を使うために収縮を確認したり、呼吸を合わせたりすることが大切であることがよく理解できました。産後の骨盤底筋の話なども聞け、Zoom ではありませんでしたが参加型の講義に近く、楽しく聴くことができました。

今後の課題としては、実技を Zoom で行う難しさを感じ講師と参加者とのコミュニケーションの取り方の難しさを掲げ、今後の課題として検討していきたいと感じております。

生涯学習部 岐阜地域
渡邊 翼